

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

## 「より多くの人に必要とされる魅力ある拠点作りを目指して —『志摩LABO』の魅力アッププロジェクト—」事業

### 依存問題のシームレスな社会参加を可能にするため 地域や社会のニーズが高い事業で立ち直りを支援

アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存当事者や家族の相談、回復支援を中心に、三重県との協働による依存症ネットワーク事業、三重県内小中学校への薬物乱用防止講話講師派遣などを精力的に行っている「三重ダルク」は、拠点となる施設を足がかりに地域における買物支援バスの運行、宿泊事業の規模拡大、依存問題関連の連続講座の開講などに取り組んだ。

#### 依存当事者のシームレスな社会参加を目指し、 買物支援バスの運行や宿泊事業を実施

「三重ダルク」では単なる“支援—被支援”という形を超え、依存問題にシームレスな社会参加を可能にする活動と場所を実現することを目的に、三重県志摩市阿児町にある「志摩エマージェン斯拉ボ」を拠点に、様々な活動が続いている。そのなかでも、POSCと三重県遊技業協同組合からの助成を受けて2024年度に実施したのが、以下の3事業である。

①買物難民の高齢者向けの「買物支援バスの運行」—三重県志摩市では地形的に徒歩や自転車での移動が難しく、スーパー等への距離も遠いため、買物が困難である高齢者が多い。その解決の一助となるべく立ち上げたのが、買物支援バスの運行事業である。活動の継続に伴

い認知も高まり、現在、3地域でバスの運行を実施している。毎週月・水曜と隔週木曜に運行し、年間利用回数は約300回にのぼる。荷物を運んだり、ときには自宅付近まで送ったりしている。

②依存当事者が就労経験を積める「ホテル（Retreat志摩）の営業」—試験的な営業を経て、2024年度はゴールデンウィーク・お盆休み・年末年始・その他連休日を中心に本格的な営業を開始した。POSCからの助成を活用して拡充した設備（特にビザ窯）が好評だった。合宿や連泊を含め、約400名が宿泊利用した。

③連続講座「アディクション大学Ⅱ」の開催—アディクション（依存症）という枠にとらわれない様々なテーマの講師を招聘し、会場とオンラインによるハイブリッド形式で全6回の講演会を行い、それに伴う宿泊客の誘致も行った。



運行している買物支援バス



様々なテーマで実施している講演会

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

## 「依存症回復と啓発のための社会貢献」事業

### 孤独や依存症状などを抱えた当事者やその家族が 心身の健康や心地よい生活を取り戻すため支援

今日、何らかの依存症状を抱えている人は、国内に1000万人以上いるとされている。また、依存症が金銭の借入、児童虐待、引きこもり、離婚、失業などに繋がるケースも多い。「リカバリーライフ」では、既存の医療福祉制度では着手することが難しい部分を的確に補う民間活動として依存症からの回復支援などに取り組んでいる。

#### チラシ、啓発ポスター、ステッカーなどの 配布や掲示で要支援者を掘り起こす

兵庫県宝塚市に拠点を置く「リカバリーライフ」は、アルコール・薬物・ギャンブル・インターネット・ゲーム・買い物などの依存のほか、様々な重複症状で生きづらさを感じている依存症当事者、その家族、関係者などを支援する活動に取り組んでいる。また、様々な立場の人々に依存症を知ってもらい、お互いに助け合うための交流やきっかけづくりを行っている。主な活動としては、①依存症や重複障がいによって生じる心身の痛みや生きづらさに対して、長期的な寄り添いを目的とした代替療法として、オリジナル音楽プログラム「ゴスレク」の企画実施、②依存症回復のための「ひだまりカウンセリングサロン」の運営、③週2回の地域コミュニティスペース「ゴスペルPLAZA」の運営

などがあるが、特に社会的弱さや経済的困難を抱えたまま依存症に陥る女性の支援を重要視し、2024年4月に施行された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく相談対応にも注力している。

当団体ではPOSCと兵庫県遊技業協同組合からの助成を活用し、2024年5月の「ギャンブル等依存症予防啓発週間」に案内チラシの配布、兵庫県内のコンビニエンスストア・保健所・スーパーマーケットなど200カ所以上での啓発ポスターやステッカーの掲示を行ったことで、75名の新規相談者と繋がることができた。大半は初回無料の初期相談で完結する方々だったが、継続相談を希望する方に対しては、毎月1~4回のカウンセリングや回復プログラムを提供したことで自発的な回復意欲が育まれ、依存症状からの解放を実感した方もいた。



配布した案内チラシ



県内200カ所以上に掲示したステッカー

助成団体:特定非営利活動法人 三重ダルク

<https://miedarc.com>



#### 依存問題のシームレスな社会参加を実現するために努力を続ける

事業全体の目標である「シームレスな社会参加」には、多様な方々の参加が不可欠です。数年という期間でプロジェクトがここまで発展できているのは、継続的な助成をいただいているからこそ実現できたことだと考えております。改めて御礼申し上げます。

特定非営利活動法人 三重ダルク  
常務理事 市川 岳仁さん

助成団体:一般社団法人 リカバリーライフ

<https://rec-life.jp/>



#### 無料サポートで依存症当事者の自傷行為や自死防止にもつながる

小さな活動である弊団体の事業に対して多大なご支援を賜り、ありがとうございます。ご支援いただいたことで、広報や支援活動に必要な経費を賄うことができ、要支援者の心身を第一に考えた最善のサポートを提供し続けることができました。

一般社団法人 リカバリーライフ  
代表理事 伊藤 まさみさん